

第12回 沖縄県アンダー40 設計競技 ティードフラッグス 2023 審査講評

県内の若手建築家を対象とするコンペも12回目を迎え、今回は、39点の力作が提案されました。今回のコンペは、沖縄県総合運動公園内にある炊事場の改築ということで、計画地はオートキャンプ場内に位置しており、炊事機能のみならず児童学習やイベント利用者の場としての施設整備が求められていました。

今回も若手らしい斬新でユニークなアイデアと課題に対する真摯な取組みが強く感じられ、非常にレベルの高い優れた提案がなされました。そうした中から一次審査では、課題に対する解決力、実施案としての実現可能性、さらにはプランの表現等を審査員で熟議し、7作品を最終審査の対象としました。

最終審査では、公開でのプレゼンテーションと質疑応答を実施し、選考委員による公開での投票の結果、金賞（作品番号29）、銀賞（作品番号31）、銅賞（作品番号15）の3作品を選出しました。

金賞（作品番号29）の作品は、屋根をクロスさせたシンプルでかつシンボリックな案であり、神社の千木を連想させる形状で、火を扱うという観点から、ヒヌカンを祀り、安全を祈願する祈りをこめた作品でありながら、風向きや煙の抜けが計算されたデザイン性が高く評価されました。

銀賞（作品番号31）の作品は、かまどが柱になった象徴的な形状で、周りの環境も同時にデザインしている素晴らしい提案でした。レンガという沖縄らしい素材を使用し、完成すれば色々なことができそうで、かまどに対する深いアプローチが評価されました。

銅賞（作品番号15）の作品は、2対の屋根を交差させた開放的なデザインで、排煙機能も考慮され、全方向からのアプローチの誘導や周辺からの視線を意識した明快なデザインが評価されました。

また、今回の金賞作品は7つの学生作品の中から選ばれた学生賞受賞作品であり、このダブル受賞は過去にないことであります。学生が2次審査に残っただけでも素晴らしいことですが、金賞を取るということはすごいことです。学生とは思えない、素晴らしいプレゼンでした。

今回の「キッチンハウス」は、火を使うという楽しい課題でしたが、審査側も非常に楽しく、今までのものになかったと思います。学生が選ばれたということで、皆様と協力しながら頑張っていたいただきたいと思います。

最後に、本事業に参加された皆様、そして事業を推進された沖縄県、並びに沖縄県建築士会に感謝すると共に、沖縄建築界の益々の発展を祈念いたします。

選考委員長 伊礼 智（有限会社伊礼智設計室 代表取締役）

